

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公開番号】特開2008-16379(P2008-16379A)
 【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報2008-003
 【出願番号】特願2006-188153(P2006-188153)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 33/04 (2006.01)
 H 0 1 L 51/50 (2006.01)
 H 0 5 B 33/10 (2006.01)
 G 0 9 F 9/00 (2006.01)
 G 0 9 F 9/30 (2006.01)
 H 0 1 L 27/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/04
 H 0 5 B 33/14 A
 H 0 5 B 33/10
 G 0 9 F 9/00 3 4 3 Z
 G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月3日(2009.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回路が形成された基板と、

前記回路による表面凹凸を平坦にするために、前記基板の上に形成された平坦化層と、前記平坦化層の上に、少なくとも発光層が二つの電極の間に挟まれて構成されている複数の有機EL素子と、

前記有機EL素子と前記有機EL素子とを分離するための素子分離膜と、が形成された有機EL素子基板と、

前記有機EL素子を保護する表面封止部材と、

前記有機EL素子基板と前記表面封止部材との間に設けられた充填層とを有し、前記表面封止部材の周縁部に、前記表面封止部材と前記基板とを接着するための紫外線硬化型接着剤を配してなる有機ELパネルにおいて、

前記充填層に紫外線吸収剤が含有されていることを特徴とする、有機ELパネル。

【請求項2】

前記充填層に含有されている紫外線吸収剤はベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤であることを特徴とする、請求項1に記載の有機ELパネル。

【請求項3】

前記充填層に光安定化剤が含有されていることを特徴とする、請求項1又は2に記載の有機ELパネル。

【請求項4】

前記光安定化剤はヒンダードアミン系光安定化剤であることを特徴とする、請求項3に

記載の有機 E L パネル。

【請求項 5】

前記紫外線硬化型接着剤は、前記紫外線吸収剤の吸収波長よりも短い波長の紫外線で硬化することを特徴とする、請求項 1 に記載の有機 E L パネル。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

すなわち上記課題を解決するための請求項 1 に記載の有機 E L パネルは、回路が形成された基板と、

前記回路による表面凹凸を平坦にするために、前記基板の上に形成された平坦化層と、前記平坦化層の上に、少なくとも発光層が二つの電極の間に挟まれて構成されている複数の有機 E L 素子と、

前記有機 E L 素子と前記有機 E L 素子とを分離するための素子分離膜と、が形成された有機 E L 素子基板と、

前記有機 E L 素子を保護する表面封止部材と、

前記有機 E L 素子基板と前記表面封止部材との間に設けられた充填層とを有し、前記表面封止部材の周縁部に、前記表面封止部材と前記基板とを接着するための紫外線硬化型接着剤を配してなる有機 E L パネルにおいて、

前記充填層に紫外線吸収剤が含有されていることを特徴とする。